

G30国際プログラムにおける日本語科目

2011年度報告

国際交流協力推進本部

初鹿野阿れ・徳弘康代

2011年度（平成23年度）秋学期より G30国際プログラムが始まった。学部入学者は37名で、そのうち27名が日本語科目を履修している。

本年度の主な活動は、日本語科目のコーディネーター、授業担当および、2010年に作成した『留学生のための専門講義の日本語』の Web 版の作成である。

1. 国際プログラム（学部）における日本語科目

本年度は以下の科目が開講された。

秋学期：

- ・総合日本語 1
- ・日本語セミナー（コミュニケーション）1

2012年度は、以下の科目が開講される予定である。

春学期：

- ・総合日本語 2
- ・日本語セミナー（コミュニケーション）2

秋学期：

- ・総合日本語 1
- ・日本語セミナー（コミュニケーション）1
- ・アカデミック日本語（文章理解・文章表現）1・3
- ・アカデミック日本語（聴解・口頭表現）1・3
- ・ビジネス日本語 1・3

2. 『留学生のための専門講義の日本語』Web 版

2009年度に作成した日本語教材『留学生のための専門講義の日本語』をオンライン化し、学外、国外のどこからでも利用できるようにした。

Web 版では、トップページから視聴したい講義を選ぶと、模擬講義の画面が開く。模擬講義の動画を視聴しながら、必要に応じて、講義を文字化したものとその英訳、及び日本語解説のページを画面上で開いて、

見ることもできるように作成した。本と同様、「法学・政治学編」、「経済学編」、「教育学・心理学編」、「数学編」、「物理学編」、「工学（化学・生物）編」、「工学（機械）編」、「工学（土木・建築）編」、「生命農学編」の9分野であるが、著作権の関係から音声のみで提供しているものもある。

「講義に役立つ日本語」と各講義の文字化、英訳、日本語解説は、トップページから pdf でダウンロードできるようにになっている。この教材の URL は、

<http://lecvideo.ecis.nagoya-u.ac.jp/>

または、名古屋大学留学生センタートップページ

(<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/>) より、「日本語教育メディア開発 JEMS」→「リンク」→「留学生のための専門講義の日本語」の順でアクセスできる。



3. その他の活動

2011年4月2日に、ハワイ大学で開催された ATJ 2011 Annual Conference, Japanese for Specific Purposes (JSP) SIG Panel「専門日本語教育から新しい日本語教育カリキュラムの可能性を考える」において、「専門講義受講準備のための日本語教材の開発」という題で発表を行った。

また、8月に天津で行われた2011世界日本語教育研究大会でも「大学の専門講義を受けるためのDVD日本語教材の開発とそのweb化」という題で発表を行った。これらの発表を通して、名古屋大学で開発した教

材を紹介すると同時に、国際プログラムの広報、及び他大学日本語教育機関の同種プログラム担当者との情報交換を行った。

